



I ターン・U ターンが一人でも多く (今子浦かえる島)



変わりゆく教育環境

Iターン・Uターン者の支援を

香美町への新しいひとの流れをつくります



森浦 繁 議員

町の移住施策を利用して転入された世帯は、令和元年で16世帯44名、令

和2年で14世帯、27名、これはまだ見込みとなつていますが、令和3年3月4日の町民課における予算特別委員会質疑答弁書で、出生届、暦年ですが、1月から12月の集計では、平成22年130件、令和2年が61件と、半数以下となっています。今

後ますます人材の確保が困難になることが予想されるため、Iターン・Uターン者の支援について伺う。

町長 本町の大きな課題として、人口減少と少子高齢化の急激な進展が挙げられます。香美町



総合戦略において、施策の柱2、若者が香美町で暮らしたいと思える環境整備の中で具体的な施策として、次世代対応型の仕事づくり、U・Iターンの促進を上げ、Uターン就職者、希望者への支援、若者を対象とした雇用、就農相談及び企業とのマッチング事業支援を行います。

サテライト授業の環境整備を ウェブ会議でオンライン授業を検討します



田野 公大 議員

ないか。また、学校に行きにくい児童・生徒たちが教室外からでも授業が受けられる体制の現状はどうなっているか、そして整備の考えはあるか。

教育長 今年度のスパー連携チャレンジプランは少なくなりしましたが、感染防止を行いながら実施しました。また、ウェブ会議システムを使った他校との交流会も実施し

ました。令和3年度に向け同システムを使った授業も検討しています。学校へ行きにくい児童・生徒が教室外からでも授業が受けられる体制を整えることは大切ですが、不登校を助長することのないように関係者が連携して支援や居場所づくりを目指し、オンライン授業を取り入れたいと考えています。

現在GIGAスクール構想で教育環境のICT化が進められている。コロナ禍でスパー連携チャレンジプランの実行がやりにくい中で、サテライト授業の体制整備と試験的運用をすべきでは